

## 【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (10月26日～11月10日分)

### シーラス・ロジック、家庭・SOHO 向け無線ネットワーク・ソリ ューションを発表

シーラス・ロジックは、同社の無線ネットワーク部門（旧 ShareWave）が Whitecap2 ネットワーク・プロトコルを採用した Bodega 無線 LAN 製品ファミリーの本格的な生産体制に入ったと発表した。

Whitecap2 は、マルチメディアとサービス品質（QoS）に対応した業界初の Wi-Fi（802.11b）認定ソリューションで、IEEE 802.11e として策定されている規格。

そのため、Whitecap2 を採用した製品は、企業や学校、空港、ホテルなどの公共分野への導入が進んでいる。Wi-Fi ネットワークとの相互運用性がある。

Whitecap2 は、企業よりもむしろ家庭・SOHO 向けに開発されており、MPEG-2 ビデオや CD 並みの品質のオーディオなど Hi-Fi エンターテインメント・コンテンツのサポート、電子レンジやコードレス電話などが原因で発生する干渉に対する防護、ユーザーにとって使いやすい機能が搭載されている。

これにより、例えばネットワーク対応のセット・トップ・ボックス、デジタル・ビデオ・レコーダ、ホームゲートウェイ、無線 MP3 プレーヤー、モバイル Web パッド、デジタルオーディオ/ビデオ・ジュークボックスといった製品で採用されるとしている。

Bodega 無線 LAN プラットフォームとは、CS22210 無線 PCI/USB コントローラ、CS22220 無線 PCMCIA コントローラ、CS22230 無線ミニ PCI コントローラ、CS22250 無線 10BT コントローラ、および CS22270 無線マルチリンク・コントローラからなる CS22200 シリーズで構成される。

現在、Panasonic と NETGEAR の製品などで採用されている Whitecap1 技術との下位互換性も確保しており、ソフトウェアでのアップグレードで正式な IEEE802.11e 規格に対応する予定。

シーラス・ロジックでは、Whitecap2 を採用した製品の本格的な生産体制に入っ

り、家庭向け製品は 2002 年上半期に発売されると見込んでいる。

(11/10)

### 米 LiquidAudio、音楽配信プラットフォームの新バージョンを発表

米 LiquidAudio は、デジタルコンテンツ配信プラットフォームの最新バージョン「Liquid System Six」を発表した。

Liquid System Six は、Liquid Delivery Server、Administration Server、Territory Identification Server、Registration Server から構成され、完全な配信ソリューションとして利用することもでき、また既存の配信システムのコンポーネントとして利用することもできる。

現行の Liquid Player の全バージョンおよびプラグインをサポートし、プレーヤーメーカー向けの次期バージョン、Liquid Player Special Edition version 6.1 にも対応する。

Liquid System Six では、パフォーマンスとスケーラビリティについて改善が施されている他、Java、HTTP、XML などのオープン規格を採用しており、主要なアプリケーションサーバやデータベースソリューションに統合することができる。

また、Liquid System Six の特徴として、メタデータとコンテンツの配信ルールがパッケージングできる。これにより、こうしたデータを複製せずに様々なチャネルを通して配信を行うことができる他、プロモーション、アラカルト、定額制など複数のビジネスモデルでサービスを提供することができる。

(11/10)

### NRI、2006 年の音楽配信市場規模を約 1,000 億円と予測

NRI 野村総合研究所は、オンラインゲーム、音楽配信、出版、映像配信の 4 市場からなるデジタルコンテンツ市場について、2006 年までの市場規模予測とビジネストレンド分析を行い、2001 年の 490 億円弱から年平均成長率 60% 以上で拡大し、2006 年には 5,530 億円に達するとの予測を発表した。

中では、オンラインゲーム市場がブロードバンド化の進展と携帯電話によるインターネット接続の浸透により、2006 年に現在の家庭用ゲームソフト市場の 50% 弱に相当する、2,710 億円まで拡大すると予想している。

次いで、オンライン映像配信市場については、2006 年には 1,540 億円まで拡大するものの、その大部分は広告による市場と分析、ユーザーへの直接課金市場拡大のためには映像配信を支える各種プラットフォームサービスの整備・充実が不可欠と指摘している。

音楽配信市場に関しては、2001 年の 4 億円から年平均成長率 200% 以上で拡大し、2006 年には 1,026 億円に達すると予測している。

この中では、販売形態を楽曲を 1 曲ごとに購入する「シングル型」と、一定金額の支払いにより決められた範囲で複数の曲を購入できる「アラカルト型」に分類、「シングル型」から「アラカルト型」へと市場の牽引力は移っていきとしている。

ただし、これらは音楽配信が普及促進の方向へ働くことを前提としており、パッケージに対する付加価値などをアピールしていく必要があると指摘している。

(11/10)

### 10 月末の xDSL 加入者数は 90 万超

総務省から 2001 年 10 月末時点の xDSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 921,867 でこれは前月末の 70.6% 増。増加率は前月から 43.1% の大幅増。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 465,158、他事業者経由の xDSL 加入者が残りの 456,706 で、NTT 東西のシェアは 50.5% と 9.0% のマイナス。これを 10 月の増加分だけのシェアで見ると 28.7% と大きくマイナスになっている。

(11/09)

### シャープと Winbond Electronics、次世代フラッシュメモリ技術の共同開発で合意

シャープと台湾の半導体メーカー Winbond Electronics は、シャープが開発し

たメモリセル技術 "ACT1" を用いて、0.18 ミクロン及び 0.13 ミクロンのフラッシュメモリ技術を共同開発することで合意したと発表された。

ACT1 は、従来の標準的な NOR 型フラッシュメモリセルに比べて、メモリセルの面積を約 1/2 に縮小できるメモリセル技術。これにより、同じデザインルールでは、メモリ容量を 2 倍に拡大することが可能なため、大容量化および低コスト化が実現できる。

今回の提携によって、シャープでは、IC 事業の柱であるフラッシュメモリの開発力強化と将来に向けた生産能力確保が図れ、Winbond Electronics においては、自社のフラッシュメモリを補完し、低消費電力 DRAM と擬似 SRAM 製品と合わせて、モバイル用途向けのメモリソリューションを実現できる。

この提携による最初の製品は、0.13 ミクロンプロセスを用いた 128Mbit または 256Mbit のフラッシュメモリで、2004 年第 1 四半期に実現する予定。販売は両社がそれぞれのブランドで行う。

(11/09)

## 富士写真フイルム、3.5 インチ FDD を 3GB 以上にする技術を開発

富士写真フイルムは、磁気記録媒体技術の新たなブレークスルーを実現し、記憶容量が現行比 10 倍の記録密度を持つ、ナノ薄層塗布型磁気記録媒体 "NANO3 (NANO CUBIC) 技術" [ ナノキュービック : NANO layer coating technology with NANO dispersed NANO particle ] を開発したと発表した。

新開発のナノ薄層塗布型磁気記録媒体は、サブミクロンレベルの薄層メタル塗布を初めて実現した ATOMM 技術に比べ、さらに一桁薄いナノオーダーの超薄層磁性層を実現。

このナノ薄層塗布型磁気記録媒体は、MR ヘッド適性に優れ、より高感度の GMR、TMR ヘッドへの適性も高いため、今後の大容量記録システムへの採用が期待される。

NANO3 (NANO CUBIC) 技術を実現に当たって、富士フイルムではナノ・コーティング技術、ナノ・パーティクル技術、ナノ・デ

ィンパッション技術を開発、これにより、3.5 インチフロッピーディスクで 3GB 以上の記録密度を実現できる。

今後は、ハードメーカー・ドライブメーカー等に、NANO3 (NANO CUBIC) 技術によるメディアサンプルを提供し、NANO3 (NANO CUBIC) 技術による塗布型磁気記録媒体を用いたシステム開発を積極的に働きかけていくとしている。

(11/08)

## NTT 東西、フレッツユーザー向けブロードバンドコンテンツ配信・課金代行サービスを発表

NTT 東西は、フレッツのアクセスサービスを利用しているユーザーに対してコンテンツの配信および課金を行うサービスを提供することとし、総務大臣に届出を行ったと発表した。

配信代行サービスは、事業者が保有するデジタルコンテンツを NTT 東西があらかじめ用意した専用サーバに登録することにより、フレッツユーザーに配信できるサービス。また、課金代行サービスも提供される。

NTT 東日本のサービスは「フレッツ・オンデマンド」。ストリーミングコンテンツ配信を前提としており、月単位の配信データ量に応じて 5GB から利用料金が設定されている。有料コンテンツの情報料回収代行は基本料が月額 5,000 円、手数料は情報料の 9% となっている他、各種工事費が初期費用として発生する。

ユーザー側では、フレッツ・ISDN、フレッツ・ADSL、B フレッツを利用している東京都 (町田市及び稲城市の一部を除く) のユーザーであれば、コンテンツの利用が可能。ただし、有料コンテンツについては、当面フレッツ・ISDN 及びフレッツ・ADSL (電話回線と共用する場合) のユーザーに限られ、情報料回収代行に承諾と申込が必要となる。

事業者からの申込受付は 2001 年 11 月 22 日、フレッツユーザーの有料コンテンツ利用申込は 2001 年 11 月 26 日から開始予定。

一方、NTT 西日本のサービスは、「フレッツ・オフィス」サービスのサーバ共有型として提供される。事業者がサーバに登録できる

コンテンツ種別は、一般のホームページ (HTML 形式)、ストリーミングコンテンツ (Windows Media Technologies 形式に対応)、ダウンロードコンテンツ (ソフトウェア、MP3 ファイル等)。

これら事業者が登録したコンテンツは、フレッツユーザー向け情報発信サイト「フレッツ・スクウェア」から利用することができる。

事業者が支払う料金はサーバの容量とコンテンツ種別 (ストリーミングとストリーミング以外) によって、月額利用料として設定されるほか、工事費として初期費用がかかる。

有料コンテンツの決済方法はクレジットカードが用いられ、課金は最低 10 円から 1 円単位で設定できる。手数料は月額課金総額の 20%。

サービスの提供開始は 2001 年 11 月 14 日、フレッツユーザーへのコンテンツ配信は 2001 年 11 月 26 日から開始予定。

(11/07)

## 電子マネー・サービス "Edy" 本格スタート

ビットワレットは、ソニーの非接触 IC カード関連技術 FeliCa を使用したプリペイド型電子マネー・サービス "Edy" を 2001 年 11 月 1 日から本格的に開始したと発表した。

"Edy" は、店舗やパソコンに接続したリーダライタに Edy カードを軽くタッチ、またはセットするだけで、簡単かつスピーディな支払ができる。IC カードを使用していることから、偽造や改ざん等の不正行為が極めて困難で、高いセキュリティを実現している。

また、Edy カードにバリュートをチャージ (入金) することで何度でも支払に使用することができる。

サイバーでは 11 月から順次、SCN が運営する So-net eMart 出展企業、ソニースタイルドットコム、e-SCOTT 採用 e コマースサイトなどでの支払時に "Edy" を利用できるようになる。

さらに、2002 年 2 月よりトヨタの Gazoo が運営する e コマースサイトでも支払に "Edy" の利用を試行する。

2002 年春には、ソニースタイル、ソニーミュージックグループが運営する e コマースサイト、エンタテインメントプラス (e+)、エー・アイ・アイが運営するブロードバンドコン

テンツサイト、凸版印刷の Bitway も対応する予定。

サイバー上での Edy バリュウのチャージ（入金）には、クレジットカード会社及び銀行が順次対応していく。

サイバー上での支払いやチャージに必要な個人用リーダ/ライターは、ソニースタイルなどで一般販売される予定となっている。

リアルではコンビニエンスストアの am/pm で 2002 年夏までに全店（1,400 店）に導入されるほか、ソニー、東京三菱銀行、サンデン、エーエム・ピーエムといった企業の社員証やデリスクラブカードなどの会員証、クレジットカード、トヨタが試行するティエスキュービック Edy カードなど各種カードの発行に取り組んでいく。

こうした利用環境の順次拡大により、2003 年度には「Edy」が利用可能なカードの発行枚数 850 万枚、加盟店 23,000 店、個人用リーダ/ライター 400 万台の普及を目指すとしている。

(11/07)

## アップル、iPod の発売を延期

アップルは、2001 年 11 月 10 日と発表していたデジタルミュージックプレーヤー「iPod」の発売を 2001 年 11 月 17 日に変更すると発表した。

iPod は、5GB の小型 HDD を搭載した携帯型 MP3 プレーヤー。2001 年 11 月 17 日（土）よりアップルのオンラインストア、Apple Store および iMac/iBook デモ展示販売店を通じて、47,800 円（メーカー希望小売価格、税別）で販売される。

この製品パッケージには、iTunes 2 CD、インナーイヤ型ヘッドフォン、FireWire ケーブル、そして FireWire ベースの電源アダプタが含まれる。

(11/07)

## 山陽新幹線車内で Bluetooth 実験を開始

JR 西日本と B.L.T. プロジェクトは、山陽

新幹線「ひかりレールスター」車内において、Bluetooth(ブルートゥース)等の新しい無線技術を活用したコンテンツ提供実験「レールスターおでかけネット」を実施すると発表した。

この実験は、車内に設置したサーバ内に用意したコンテンツを、ユーザーのパソコンや携帯情報端末（PDA）で座席にしながら楽しむことのできる、新しい車内サービスの実現を目指すもの。

実験の実施期間は 2002 年 11 月 8 日から 12 月 20 日までの毎週火・木曜日。実験対象列車及び車両は【下り】ひかり 367 号（新大阪（9:58）発、博多（12:45）着）【上り】ひかり 378 号（博多（14:39）発、新大阪（17:22）着）で、いずれも「8号車」車内のみ。

コンテンツは列車の時刻検索、車両設備案内、駅お役立ち情報（駅構内の案内、お天気等）、駅弁情報、ニュース等。希望すれば、実験専属スタッフから Bluetooth 搭載の PDA の貸し出しも受けられる。

また、東芝の協力の下、無線 LAN による地上から車上へのデータ転送システムを使用し、岡山駅停車時に、車内サーバのコンテンツ更新の実験もあわせて行なわれる。

B.L.T. は、Bluetooth Launch Trial の略で、日本エリクソン、丸紅、及びハンスプリングの 3 社が共同で実施している Bluetooth を利用した携帯端末向け情報配信サービスの実証実験。都内各所で行われていた実験は 10 月末で終了となっている。

(11/07)

## ケンウッド、圧縮フォーマットの高音質再生技術を子会社へ移管

ケンウッドは、圧縮フォーマットの高音質再生のためのオリジナル技術「Supreme（サブリム）」の開発・販売体制を、子会社であるケンウッド・ジオビットに正式に移管、より細かなニーズに対応できる体制とし、普及に向け積極展開を図っていくと発表した。

「Supreme」は、圧縮された音楽信号の欠落成分を補間、より原音に近い高音質で再生

するケンウッドが開発したオリジナル技術。

ケンウッド・ジオビットでは、「IT 事業部」を発足させ、ネットワーク時代のサービスコンテンツやソフトウェアアプリケーションなどを提供する事業を開始しており、販売及び開発体制をケンウッド・ジオビットに正式に移管することでケンウッド以外の法人にも広く供給、普及を強力に図っていくとしている。

既にケンウッド・ジオビット IT 事業部では、PC メーカー及びパソコンソフトウェアメーカー用のオーディオ用ソフトウェアアプリケーションの開発・供給及び Supreme 技術の搭載など、すでにいくつかの実績を重ねており、同時に発表されたケンウッドのマイクロ・コンボ「Digital Avino SJ-7MS」にバンドルされている「Mulia（ミューリア）」開発も担当している。

(11/06)

## ケンウッド、MG メモリスティックに対応した MD マイクロ・コンボを発表

ケンウッドは、世界で初めてマジックゲート(MG)メモリスティックスロットと MD をワンボディに搭載した「Digital Avino SJ-7MS」を 11 月下旬より発売すると発表した。希望小売価格はオープン。

SJ-7MS では、従来は PC を必要とした MG メモリスティックへの音楽データ記録をワンボタンで実現、CD の全曲もしくは任意の一曲をボタンひとつの操作で簡単に MG メモリスティックへ記録する「ワンタッチエディット」機能を搭載している。

また、CD から MG メモリスティックと MD への同時録音も可能となっている。

さらに、ケンウッド・オリジナルの PC 用アプリケーションソフト「Mulia」を添付。PC 上のミュージックプレーヤーとして使用できるほか、インターネットを通じて CDDB2 から音楽 CD の情報を取得したり、PC ハードディスク内の音楽データを管理したりすることが可能。

また、音楽 CD を PC のハードディスクへ ATRAC3 形式にエンコードでき、SJ-7MS 本体と PC を USB 接続すれば、MG メモリスティックへ音楽データを高速転送できる。

「Mulia」の動作条件は以下の通り。

- ・対応 OS : Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 professional
- ・CPU : Pentium233MHz以上
- ・必要メモリ : 64MB以上
- ・必要 HDD 容量 : 100MB以上

なお、CD プレーヤー部は WMA / MP3 の再生に対応。「ID3 タグ」「WMA タグ」も曲タイトル / アーティスト名などをディスプレイ上に漢字対応で表示。また、圧縮フォーマットでのプログラム / リピート再生にも対応している。

MG メモリースティックスロットを搭載しない下位機種「SJ-5WM」も同時に発表されている。

(11/06)

## アップル、iTunes2の無償配布を開始

アップルは、Mac 用デジタルミュージックソフトウェアの新バージョン「iTunes(アイチューンズ2)」の無償ダウンロードを開始した。

iTunes 2は、新たに MP3 CD 作成機能、イコライザ機能、そしてクロスフェード機能が追加されている。

また、最も特徴的なのは 2001 年 11 月 10 日発売予定の MP3 プレーヤー「iPod (アイポッド)」との連携機能。最初に iPod を iTunes 2 を実行している Mac に接続すると、iTunes 2 からすべての曲とプレイリストが自動的に iPod にダウンロードされ、それ以降、iPod を Mac に接続するたびに、iPod の内容は自動的に更新され、常に最新の状況に保たれる。

また、Creative Labs (日本国内ではクリエイティブメディア) の Nomad シリーズ、ソニックブルーの Rio シリーズ、ナカミチの SoundSpace2 など USB 接続の MP3 プレーヤーが標準サポートとされている。

Mac にこれらの MP3 プレーヤーをつなぐと、そのアイコンが iTunes のウィンドウに現れ、後は、MP3 プレーヤーのアイコンにライブラリやプレイリストから曲をドラッグ & ドロップするだけで MP3 ファイルの転送が行える。

iTunes 2 の動作条件は、MacOS 9.2.1 または Mac OS X v10.1 以降のバージョンが必要。11 月からすべての新しいマックに搭載されるほか、iPod にも無償 CD として同梱される。

(11/06)

## J-フォン、SD Audio 準拠の携帯電話を発表

J-フォンは、2002 年春より開始予定のポケット通信サービスに対応し、SD Audio 準拠の MP3 ファイルの再生 / 録音が可能な「J-SH51」(シャープ製)を発表した。希望小売価格(標準セット)は 62,000 円、発売は 2002 年 1 月上旬以降予定。

J-SH51 は SD カードスロットを搭載、オプションのマイク付オーディオリモコンを使えば、音楽再生中の電話着信にも対応できる。

さらに有効画素数 31 万画素のモバイルカメラ (CMOS) を搭載し、640 x 480 ドット (VGA サイズ) の撮影が可能。従来比約 2 倍の明るさを実現したアドバンスド TFT 液晶を搭載、JPEG 画像は最大 26 万色相当のカラー表示を実現している。

SD カードは J-フォンの拡張メモリとしても利用が可能となっており、モバイルカメラ画像はもちろん、Java アプリやメモリダイヤル、メール、スケジュールのデータも保存できる。

大きさは約 50x96x28mm (折りたたみ時、アンテナ突起部除く)、重量は約 108g。色はハイドロシルバー、バイオピンク、アストロネイビー、ソシオホワイト (東海エリアのみ)。

標準セットには、携帯電話本体、付属品キット (電池パック、急速充電器、卓上ホルダー、SD メモリカード (8MB)、ステレオヘッドホン、光デジタル変換プラグ、アナログ変換プラグおよびハンドストラップ) が含まれる。

また、ポケット通信サービスに対応した機種として、背面に配された業界初のステレオツインスピーカーと 7 色に点滅する 2 つの LED が、迫力の 40 和音ステレオサウンドの着信メロディやゲームを楽しく演出する

「J-K51」(ケンウッド製)も発表された。  
(11/05)

## AMD、0.17 ミクロンプロセス技術使用のフラッシュメモリ製品を量産開始

AMD は、富士通との合弁会社「富士通エイ・エム・ディ・セミコンダクタ (Fujitsu AMD Semiconductor Ltd.)」の最新鋭量産工場から 0.17 ミクロンプロセス技術を使用したフラッシュメモリ製品ファミリーの出荷を開始したと発表した。

0.17 ミクロン・プロセス技術の採用によってターゲット・アプリケーションの性能水準を向上させつつ、コストと消費電力を削減することが可能となっており、携帯電話、双方向ポケベル、携帯情報端末 (PDA) や、車用遠隔診断装置、車用盗難追跡装置、GPS ナビゲーション、車載音声認識装置などの車載応用機器などへの搭載が見込まれている。

この新しいフラッシュメモリ製品ファミリーは、日本の会津若松にある最新鋭の JV3 量産工場で生産される。この新工場は、着工が 2000 年 6 月で、建設から認定、生産立ち上げまでの期間を 5 四半期と大幅に短縮することに成功したとしている。

(11/05)

## デジキューブ、KIOSK 端末による音楽配信事業から撤退

デジキューブは、レコード店や量販店の店頭を設置している KIOSK 端末 (DCFR) の運営、およびコンビニエンスストアなどに設置されている KIOSK 端末向けに提供しているデジタルデータ運用のいずれからも撤退することを発表した。

コンビニエンスストアなどに設置されている KIOSK 端末については、当初 16,000 台の設置規模で事業設計していたが、現段階で来年末で 6,000 台と予想、事業の黒字転換が見込めなくなったとしている。

そのため、2001 年 12 月末を持って現在の運営委託先であるスペースリンクへ事業を移管する。

また、レコード店や量販店の店頭に設置した自社所有のDCTFRに関しても2002年3月末までに第三者に移管するとしている。

以上の結果、KIOSK 端末事業における資産を特別損失として計上する。

(11/05)

## 荒川区、FTTH 導入補助制度を開始

東京都荒川区は、2001年11月15日から、区民を対象に民間事業者が行う「光ファイバーによるインターネット接続 (FTTH) サービス」に加入する際の初期工事費を補助する制度を開始した。

条件としては、個人では荒川区に住居登録または外国人登録をしていること、住所地の住まいでFTTHサービスに加入すること、特別区民税を滞納していないこと、事業所では荒川区内にある企業・事業所、所在地の事務所・工場等でFTTHサービスに加入すること、法人事業所の場合は法人都民税を滞納していないこと、個人事業所の場合は事業主が個人住民税を滞納していないこととなっている。

集合住宅の場合は、建物の支配電盤 (MDF) まで光ファイバーを引き込み、各戸あたり上り下りとも10Mbps以上の通信速度に対応できる配線を使用しているものでも構わない。

補助金額は個人では3万円、事業所では5万円を上限としたFTTHサービス加入時の初期工事費用全額、契約料、手数料、月額利用料には補助はない。

申請期間は2001年11月15日から2002年3月29日。FTTH事業者へ2001年11月1日以降に加入申込みをしたものを受け付ける。

なお、荒川区では高速・大容量でインターネットに接続できるブロードバンドを活用した、荒川区ブロードバンド・ネットワーク (AB-NET) の構築を計画しており、今回の補助制度もその一環となっている。

(11/03)

## 沖縄県初の広域無線インターネット"プレ・サービス"開始

ファーストライディングテクノロジー (FRT) は、2001年11月1日から、沖縄県内北谷町エリアで広域無線インターネット接続サービス「FirstBB」のプレ・サービスを開始した。

これは、2001年12月からの事業開始を前にしたサービス全体の運用テストの実施を行うもの。2001年10月15日から募集したモニター利用者は、アンテナや無線LAN機器などの設置工事費を負担した上で、「接続料金無料」で無線インターネットを利用できる。

プレサービス実施エリアは、沖縄県北谷町宮城、桑江、砂辺、北前の一部地域。サービス期間は2001年11月1日から30日の1ヶ月間。

2.4GHz帯の電波を利用する無線LAN技術を採用しており、最大速度1.6Mbpsのインターネット接続サービスを提供する。

12月からは定額制・常時接続サービスをプロバイダ料金含め月額3,980円で提供する本サービスを開始する予定。

FRTは、2001年7月に、沖縄電力、マリオンシステムアソシエイツ、りゅうせきの地元3企業と、日本テレコム共同出資により設立された。無線LANサービス、光ファイバーによるインターネット接続など、ニーズに則したさまざまなサービスを提供していく予定としている。

(11/02)

## 米 Liquid Audio、Windows XP 対応の Liquid Player を発表

米 Liquid Audio は、同社のプレーヤーソフトウェア「Liquid Player 6」の Windows XP 対応版を発表した。同社のサイトから無償でダウンロードできる。

Liquid Player 6 は、ストリーミング、ダウンロード、音楽配信サイトからの楽曲の購入、再生、音楽CDのリッピングとCD-Rへの焼き付けといった機能を備えた統合ソフトウェア。

サポートするファイル形式は、MP3、Liquid形式、Windows Media Audio (WMA)、WAVファイルとオーディオCD。

新たに Web ページの表示機能を内蔵しており、音楽配信サイトへのアクセスもソフトウェア上でできる。

Liquid Player は WMA 以外のフォーマットもサポートしており、Windows XP と組み合わせることによって、ユーザーにより分かりやすい音楽配信ソリューションを提供できるとしている。

(11/02)

## 富士通と NTT Com、MO 向けデジタルコンテンツ配信サービスを発表

富士通と NTT コミュニケーションズ (NTT Com) は共同で、映像などのデジタルコンテンツを、「メディア ID」機能に対応した 3.5 型 MO (光磁気) メディアに配信するプラットフォームサービスを、2001 年 12 月 1 日より開始すると発表した。

このサービスは、コンテンツホルダが保有する様々な映像作品を高画質で圧縮し、NTT Com のコンテンツ配信プラットフォーム「DRM-WING (Arcstar MUSIC & VIDEO)」を利用して、デジタルコンテンツの著作権保護を可能にする「メディア ID」機能を搭載する MO メディア向けに提供するもの。

「メディア ID」機能に対応する MO ディスク装置は、アイ・オー・データ機器、加賀電子、富士通パーソナルズ、メルコ、ヤノ電子、ラディウスより順次販売される予定。

対応する MO メディアについては、230MB、540MB、640MB、1.3GB、2.3GB といった容量で既に販売されており、2.3GB の 3.5 型 MO メディアでは最大 314 分間のビデオ映像 (MPEG4 方式による DVD クオリティの圧縮をエンコードレート 1Mbps で行った場合) を、著作権を保護したまま記録・再生することができるとしている。

なお、対応する MO ディスク装置および MO メディアには、「メディア ID」機能を示

すロゴマークがつけられる。

また、サービス開始時には、2002年3月末までの期間限定のキャンペーンサイト「moclip.com」を開設、無料で音楽ビデオリップなどを配信する。

(11/01)

## ソニックブルー、Rio ユーザー向け音楽配信サービスを発表

ソニックブルーは、Rio デジタル・オーディオ・プレーヤー Rio 600、Rio 800、および Nike ps[play 120、Nike ps[play 60 向けのデジタル音楽配信サービス「Rio Music Style」を2001年12月3日より開始すると発表した。

「Rio Music Style」は、Web サイトから直接 Rio に WMA 形式の楽曲ファイルをダウンロードできる会員制のサービス。会員は月々15曲まで無料でダウンロードすることができる。

提供される楽曲はパブリック・エネミーやシューガー・ロスなど70曲。楽曲は月ごとに更新される。

また、「Rio Music Style」では2002年前期中にも有償のデジタル音楽配信サービスを開始する。有償のデジタル音楽配信サービスでも著作権保護された WMA を採用し、一曲ごとのダウンロードに課金する方式や一定期間内の定額方式など複数のサービス形態を提供する予定。

なお、有償サービスが始まった後も、無償楽曲は提供されるとしている。

(11/01)

## メルコ、次世代高速 22Mbps 無線 LAN 製品を発表

メルコは BUFFALO ブランドより、11Mbps 無線 LAN 「AirStation」シリーズに従来の2倍の通信速度を実現した次世代無線 LAN 「AirStation2x (エアーステーションツーエックス)」シリーズをラインナップ化すると発表した。

「AirStation2x」シリーズの第1弾は、標準(ブリッジ)モデル「WLA-T22G」と、CardBus スロット用無線 LAN カード「WLI-CB-T22G」。

Texas Instruments Incorporated (TI) の最新チップセットを採用し、IEEE802.11b に準拠、データ転送速度も従来の1/2.5/11Mbpsに加え、TI独自の2xモードによる22Mbpsの高速通信を実現している。

従来製品との互換性に関しては、11Mbpsの国際標準規格である Wi-Fi 認証取得を予定しており、セキュリティ面でも強力な40/128/256bit WEP 機能及び MAC アドレス登録機能を搭載している。

欧米では2001年12月下旬より販売子会社 Buffalo Technology (UK) Inc 及び Buffalo Technology (USA) Inc を通じて販売を開始する予定。日本国内の販売は2002年2月上旬を予定している。

なお、第2弾として、ADSL/CATV 対応 Broadband (ローカル) ルータ搭載モデル「WLAR-T22G-L」を予定している。

(11/01)

## パワーバンドコミュニケーションズ、東京ケーブルネットワークと提携

パワーバンドコミュニケーションズ (PBC) は、東京ケーブルネットワーク (TCN) と業務提携し、TCN の CATV 網を上位接続とするマンション向けブロードバンドサービス「Power Band」(パワーバンド) の提供を TCN のサービスエリアにて2001年11月1日より開始すると発表した。

Power Band は、バックボーンに同軸ケーブルを採用し、各マンション内のネットワークには既存の電話線を利用して PNA モデムを接続する「Home-PNA方式」を採用しているブロードバンドサービス。

通信速度は1Mbpsのベストエフォートで、回線使用料、通信料、インターネット接続料を含む基本接続料は月額4,300円の定額制となっており、都心部のマンションが集中しているエリアに対して、2001年6月1日よりサ

ービスを提供している。

今回の TCN との提携により、新たに東京都千代田区、文京区、荒川区が「Power Band」のサービス対象エリアとなる。PBC と CATV オペレーターとの提携は、港区の Rosenet (2001年8月)、名古屋のスターキャット (2001年10月) に続いて3回目。

なお、今後も PBC では、サービス提供地域を対象にケーブル網の敷設を行い、地域に細やかなサービスを提供してきたノウハウを持つ東名阪の複数の CATV オペレーターと同様な協力関係を構築することにより早急にエリア拡大を図っていくとしている。

(10/31)

## 米 Rioport、HP の PC ユーザーに音楽配信サービスを提供

米 Rioport は、米 Hewlett-Packard の PC、Pavilion のユーザーに対して有料音楽配信サービスを開始すると発表した。

RioPort の PulseOne Media Service を採用した HP Digital Music Store は、Windows XP を搭載した HP の家庭向けデスクトップおよびノート PC、新 Pavilion の画面上から直接アクセスできるようになっており、メジャーレーベル、インディーズ併せて数万タイトルの楽曲がダウンロード可能となっている。

なお、このサービスは MUSICMATCH Jukebox 6.1 を Windows XP と組み合わせることによってユーザーに最新のデジタルオーディオ管理技術を提供するとしている。

(10/31)

## M-Systems、世界最小のフラッシュディスクを発表

M-Systems は、世界最小サイズの 16MB フラッシュディスク「Mobile DiskOnChip」を発表した。

Mobile DiskOnChip は、9x11x1.4mm の BGA (Ball Grid Array) パッケージで既存のフラッシュディスクの半分以下のサイズとなっている。その一方、データ書き込み速度は

10倍近く向上しており、5MBのMP3ファイルも数秒でダウンロードできるとしている。

駆動電圧も 1.8V と低消費電力を実現しており、大量の電子メールや添付ファイルデータおよびオーディオ・ビデオデータを扱うようなハイエンドの携帯電話に最適のソリューションとしている。

また、業界標準のエラー検出・訂正コード「Reed-Solomon」やM-Systemsの特許技術「TrueFFS」ソフトウェアを組み合わせることで、データの誤消去を防ぎ、保存データの信頼性を高めている。

Mobile DiskOnChip は既に北米、アジア、欧州の市場向けにディストリビューター経由で流通が開始されている。

(10/31)

## NTT コム、Hi-FIBE の実験スポットにミニストップを追加

NTT コミュニケーションズは、2001年7月より開始している公衆エリアを活用した無線 LAN インターネット接続実験（実験名称：ハイファイブ）の実験スポットに11月中旬より東京都内のミニストップ4店舗を追加すると発表した。

この実験は、家庭やオフィス・学校で利用しているパソコン+無線 LAN の環境をそのまま外出先に持ち出して活用するというコンセプトのもと、人の多く集まるホットスポットにブロードバンドインフラを敷設し、IEEE802.11b をベースにした世界標準規格（Wi-Fi 認定）に準拠したシステムを構築している。ホットスポットではブロードバンドコンテンツ配信と共にブロードバンド環境を体験することができる。

これまではモスバーガーサービスと協同で東京都内のモスバーガー7店舗および品川プリンスホテルにおいて展開されていた。

なお、今後は要望の多いモスバーガー店舗についても実験拡大を予定としている。

(10/30)

## NTT 東日本、B フレッツサービス地域を拡大

NTT 東日本では、光ファイバを利用したインターネット接続サービス「B フレッツ」について、2001年11月及び2002年1月の2回にわたり提供地域を拡大することを発表した。

提供拡大地域は東京 23 区全域、及び東京都多摩地区、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、宮城県、北海道の各一部地域。

提供地域の拡大に伴い、申込受付を 2001年11月1日から順次開始する。

今回のサービス提供地域拡大により、「B フレッツ」については、NTT 東日本エリアの固定電話施設数ベースで約33%のユーザーをカバーすることになるとしている。

(10/30)

## Macrovision、著作権管理の特許技術を2社から取得

Macrovision は、AudioSoft International の主要な特許技術およびその他の知的資産、MediaDNA のソフトウェアとコンテンツのセキュリティに関する主要ないくつかの特許技術を取得したと発表した。

AudioSoft International は、音楽業界向けにデジタルコンテンツの著作権料の分配や管理技術を開発している企業。

AudioSoft Tracking Master はインターネット上で使われているあらゆる音楽の情報を集め、整理し報告する製品で、レコード会社、著作権管理団体、音楽配信業者などに対してリアルタイムで正確な情報をカスタマイズして報告することができる。インターネット上で利用されている主要なオーディオフォーマットと配信プラットフォームに対応しており、数百のインターネットラジオ局で利用されている。

MediaDNA が eMediator として発表していた技術は、個々のデジタルコンテンツに対する利用権限と著作権を強固に結びつけるもの。デジタルコンテンツは何度配信され、利用されてもしっかりと保護され、それぞれの

アクセスを管理することができる。

Macrovision では、インターネット上の許諾を受けていない音楽ファイルと CD-R 機器の増加が既存の音楽流通ビジネスの脅威となっている現状を踏まえ、今回取得した2社の技術と既に発表している SAFEAUDIO と併せて、ビデオやソフトウェア、音楽の複製防止技術およびデジタルコンテンツの著作権管理分野に集中していくとしている。

(10/27)

## アッカ、イー・アクセス、ADSL モデムなどの Windows XP 対応を公表

アッカ・ネットワークスとイー・アクセスは、それぞれ Windows XP の発売を前に、提供している ADSL モデムなどの対応状況を公表した。

Windows XP のパッケージ品の発売は2001年11月16日だが、英語版が同10月25日に米国で発表されたこと、日本語版も OEM 版およびプリインストール版が同日発売されたことを受けてのもの。

アッカでは、提供している ADSL モデムの内、ルータタイプについては WindowsXP 標準搭載されている Internet Explorer 6.0 で問題なく設定ができることをそれぞれのメーカーによって確認している。USB タイプの Xpeed X411C (PPPoA) については現在配布している最新ドライバ Ver.1.07 で動作は確認しているものの、インストール時などに何点か注意が必要としている。

また、Windows XP のブロードバンド対応機能として提供される「リモートアシスタンス」と「リモートデスクトップ」の機能については、検証によって基本的な動作は確認できているとしている。こちらは USB タイプについては問題ないが、ルータタイプの場合は、NAT (IP マスカレード) を使用しているためモデムの設定が必要となっている。

一方、イー・アクセスでは USB タイプの ADSL モデムに関しては Windows XP 対応のドライバが必要としており、11月末のドライバリリースに向けて準備中となっている。ルータタイプについてはブラウザを使用したモ

デムの設定など、Windows XPに付属するブラウザが Internet Explorer 6 と同等のため、Windows 2000、Me、98 と同様に設定を行なうことができるとしている。

なお、イー・アクセスでは Windows XP に搭載されるリアルタイムコミュニケーションツール「Windows Messenger」を通じて VoIP (Voice over IP) 技術を利用した PC 発公衆網向け電話サービスの提供を予定している。

(10/26)

## 【EMD プレーヤー 2001 年秋冬モデル一覧】 -追加-

### ケンウッド Digital Avino SJ-7MS



記録媒体：マジックゲートメモリスティック  
対応圧縮方式：ATRAC3  
サイズ：240x136x328mm (本体)、  
150x285x222mm (スピーカー)  
重量：約 4.9kg (本体)、約 2.5kg (スピーカー)  
メーカー希望小売価格：オープン  
発売日：2001 年 11 月下旬

MG メモリスティックへの音楽データ記録をワンボタンで実現、CD の全曲もしくは任意の一曲をボタンひとつの操作で簡単に MG メモリスティックへ記録する「ワンタッチエディット」機能を搭載。

なお、CD プレーヤー部は WMA / MP3 の再生に対応、「ID3 タグ」「WMA タグ」も曲タイトル / アーティスト名などをディスプレイ上に漢字対応で表示。

### シャープ J-SH51



記録媒体：SD カード  
対応圧縮方式：MP3  
サイズ：約 50 x 96 x 28mm  
重量：108g  
メーカー希望小売価格：62,000 円 (税別)  
発売日：2002 年 1 月上旬以降

J-フォンのポケット通信サービスに対応し、SD Audio 準拠の MP3 ファイルの再生 / 録音が可能。色はハイドロシルバー、バイオピンク、アストロネイビー、ソシオホワイト (東海エリアのみ)。

標準セットには、携帯電話本体、付属品キット (電池パック、急速充電器、卓上ホルダー、SD メモリカード (BMB)、ステレオヘッドホン、光デジタル変換プラグ、アナログ変換プラグおよびハンドストラップ) が含まれる。

### EMD Magazine 第 8 号

発行 2001 年 11 月 12 日  
発行所 音楽配信関連情報サービス  
責任編集 宮腰 温  
レイアウト 株式会社アイビルダース